

あきらめないで

ウルワースは最初、四つ店を開きましたが、三つは失敗して閉店しなければなりませんでした。しかし、彼は、あきらめないで、後に、全米にチェーン店を持つまでになりました。ペリー提督は七回、北極を目指しましたが、すべて失敗しました。しかし、あきらめないで八回目に北極点に到達しました。エディソンは電球のフィラメントを見つけるのに、なんと一六〇〇もの材料を試しました。オスカー賞で有名なオスカーク・ハマスタインが「オクラホマ」で成功するまで、六回のシヨウはすべて失敗でした。しかし、「オクラホマ」は二二四八回ものシヨウを重ねることになったのです。ベーブ・ルースは七一四本のホームランを打ちましたが、その倍以上の空振りをしていません。

ユリシーズ・グラントは、軍務についている時に酒を飲み、酔っ払ったため、軍を辞めさせられました。それでビジネスをしましたが、失敗し、農業も試してみましたが、それも失敗しました。彼は、働き盛りの四十代に、薪ひろいをし、それを道端で売っていたのです。しかし彼はあきらめませんでした。そして、彼は、その「忍耐」によって、アメリカ大統領にまでなりました。

「あなたがたが神のみこころを行なって、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です」（ヘブル10・36）と、聖書が言っているように、本当に良いものを手に入れるためには「忍耐」が必要です。偉大なことを成し遂げた多くの人は、天才的なひらめきによってではなく、失敗しても、あきらめず、忍耐と努力によって、成功を取めたのです。

ヤベツの祈り（一）

今から三千年も前、ユダヤの国にヤベツという人がいました。彼のことについては、次の祈りを祈ったという以外はほとんど知られていません。「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。御手が私とともにあり、わざわいから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてくださいますように。」

（第一歴代4・8）

「ヤベツ」という名前の意味は「苦しみ」で、母親によつて名付けられました。「どうしてこんな縁起でもない名前を」と誰もが思うように、このような名前が彼につけられたからには、きっと普通でないことがあったのでしょう。イスラエルでは父親が子どもに名をつけましたから、おそらく、ヤベツが生まれた時には、父親が亡くなつていて、ヤベツの母親は、夫を

亡くし経済的にも、精神的にも大変な苦しみ、悲しみの中で、子どもを産み、育てなければならなかつたと思われます。彼女が子どもに「苦しみ」という名を付けたのにはそれなりの理由があつたようです。

ヤベツは逆境の中に生まれ家庭的に重いハンディキャップを背負われました。しかし、ヤベツは、逆境に飲み込まれ、ハンディキャップの中に沈みこんだまままで終わりませんでした。ヤベツは困難を克服し、どの兄弟よりもすぐれた者、抜きん出た者となりました。彼は祈りによつて人生を変えたのです。

ヤベツは「私を大いに祝福し、わざわいから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてください」と祈りました。今日の私たちも同じように祈ることが許されています。ものごとをあきらめる前に、神に祈ってみようではありませんか。

ヤベツの祈り（二）

私が教会で「ヤベツの祈り」を教えたら、それを聞いた人が言いました。「先生、キャベツの祈りついていいですね。これを祈ると元気が出ますよ。」私は、「キャベツ」ではなく「ヤベツ」なんだけど…と思いましたが、聖書を読めば分かることなので、あえて間違いを訂正しないで、そのまま聞いていました。

ヤベツは「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように」（第一歴代4・8）と祈りました。農業や酪農業にとつて、土地が広ければ広いほど、生産量が増えます。ですから、「地境を広げてください」というのは切実な祈りでした。私たちも様々な意味での「地境」、つまり、私たちの背負っているいろいろな制限があります。それは、身体的な制限の他に、能力や知識、また環境の制限や制約もあること

でしょう。そんな時、その制限の中に閉じこもるのではなく、それを広げてくださいと、神に祈ってみようではありませんか。

星野富弘さんは、体育の先生で頑丈で敏捷なからだを持つていましたが、クラブ活動の指導中、宙返りに失敗し、首から下はまったく動かなくなつてしまいました。何度も死にたいと思つた彼でしたが、聖書に出会い、神を信じ、キリストに従うようになってから、口に筆を加えて絵を書き、神の愛と恵みのメッセージをその絵に詩の形で書き続けてきました。星野富弘さんは、神への信仰と祈りによつて、自分が背負っている肉体の制限という「地境」を広げることができたのです。

聖書にはハンディやリミットを打ち破る「祈り」が「ヤベツの祈り」の他にもたくさんあります。

「試し読み」はここまでです。

お気に入りでしたら

ご注文ください。



Penguin Club
www.penguinclub.net